

平成23年度版

男子ジュニアナショナルオーディション

選考テスト内容

(財) 日本体操協会

# 採点について

## 1. 中学1年生以下

- ① 5つの課題を組み込んだ演技を10点満点で採点する。

(審判員の観点から出来映えを一般規則により評価する。)

- ② 選手のレベルを5点満点で採点する。

(ジュニア強化の観点から選手の能力を評価する。)

$$\text{得点} = \text{①} + \text{②}$$

## 2. 中学2年生～高校2年生

- ① 自由演技を行う。各グループ1技ずつ高い難度をカウントし、計5技でDスコアを算出する。

Eスコアは5点満点で採点する。

$D + E = \text{①}$ の得点 (審判員が一般規則で採点する。)

- ② 選手のレベルを5点満点で採点する。

(ジュニア強化の観点から選手の能力を評価する。)

$$\text{得点} = \text{①} + \text{②}$$

## 中学1年生以下

\* 跳馬を除く5種目は、課題1から課題5を順番どおりにすべて組み込んで、演技として行う。

### ゆか

- 課題
1. 踏み切り板に手を着き、倒立からはねおきして後転とび3回—後方かかえ込み宙返り
  2. 両足伸身ジャンプ（2～3回）—両足踏み切り前転とび—両足伸身ジャンプ—2、3歩助走から前転とび2回
  3. 助走から踏み切って前方伸身宙返り
  4. 前後（または左右）開脚座—伸腕屈身開脚力倒立
  5. ロンダート—後転とび—後方伸身宙返り
- \*ゆかの対角線を使用して実施する。  
\*方向転換及びつなぎのための動きは自由とする。

### あん馬

- 課題
1. 逆交差1回
  2. 正交差1回
  3. 把手上（横向き）閉脚旋回5回以上
  4. 馬端部（横向き）閉脚旋回3回以上
  5. 馬端中向き縦向き閉脚旋回5回以上
- \*技と技のつなぎは自由とする。例えば課題3から課題4につなげる技として、上向き転向移動あるいは横移動のどちらでも良い。

### つり輪

- 課題
1. ホンマ支持（できない場合は後ろ振り上がり支持でも良い。 —1. 0）
  2. 伸腕屈身開脚力倒立
  3. 倒立から前方に振り下ろし、前方懸垂回転—後ろ振り
  4. 振れ戻り、後方懸垂回転2回—前振り
  5. 後方伸身宙返り下り
- \*ホンマの前の技は自由とする。またホンマの後、脚がさがっても良い。

## 跳 馬

課題 1. 前転とび前方かかえ込み宙返り

(できない場合は跳馬の高さまで着地面を高くした所に前転とびで良い。 -1. 0)

2. 助走から踏み切り板で踏み切って、前方伸身宙返り 3/2 ひねり

3. 助走から踏み切り板で踏み切って、前方かかえ込み 2 回宙返り

\*課題1で前転とびを選択した場合の評価ポイントは、前転とび前方かかえ込み宙返りが出来そうな踏み切り・着手・突き起こしがあるかどうかという所である。

\*課題2及び課題3はジュニア強化部のみが採点する。

## 平行棒

課題 1. 支持後ろ振り正倒立ひねり (スイングしながらひねりを行う)

2. 支持後ろ振り逆倒立ひねり (スイングしながらひねりを行う)

3. 後方車輪 (後方車輪で倒立した後、下りた場合は -0. 5)

(できない場合は足をバーに乗せる、あるいは瞬時支持して下りても良い。 -1. 0)

4. 前振りひねり倒立

5. 後方伸身宙返り下り

\*課題4から課題5が直接続けられない場合は、腕支持前振り上がり支持-支持後ろ振り倒立を行っても良い。 減点なし)

## 鉄 棒

課題 1. 後ろ振り上がり倒立-後方浮き支持回転倒立

2. 後方車輪-順手懸垂前振りとび (1/2) ひねり 2 回

(できない場合はとびがなくとも良い -1. 0)

3. 後方車輪-シュタルダー-後方車輪-後方車輪ひねり (逆手) 倒立

4. 前方車輪-エンドー-前方車輪-前方車輪ひねり (順手) 倒立

5. 後方車輪-後方伸身宙返り下り (背落ち)

\*演技全体として、車輪の回数は自由。なしでも良い

## 中学2年生～高校2年生

### ゆか・あん馬・つり輪・平行棒・鉄棒

課題 自由演技

①各グループ1技ずつ高い難度をカウントし、計5技でDスコアを算出する。

難度の価値点は2009年版採点規則通りとする。

ゆか・鉄棒の組み合わせ加点がある。

例(ゆか)：前方宙返り2回ひねり～前方宙返り1/2ひねり、前方宙返り5/2ひねりを行えば、組み合わせ加点の0.1を取り、前方系としては前方2回半ひねりをカウントする。

例(鉄棒)：アドラー1回ひねり～伸身コスミック、コールマンを行えば、組み合わせ加点の0.2を取り、手放し技としてはコールマンをカウントする。

②終末技の要求グループは以下の通りに加算する。

・高2、高1 D難度以上：0.5 C難度：0.3 B・A難度：0.0

・中3、中2 C難度以上：0.5 B難度：0.3 A難度：0.0

\*ゆかのグループ要求も2009年版採点規則通りとする。

③Eスコアは5点満点で採点する。採点基準は2009年版採点規則通りとする。

\*ゆかにおけるラインオーバー、タイムオーバー、4つのコーナーの不使用及び対角線の3連続使用は、減点の対象としない。

### 跳馬

課題 自由演技

①採点規則通りDスコアを算出する。

②Eスコアは5点満点で採点する。採点基準は2009年版採点規則通りとする。